

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 減災復興政策専攻 博士前期課程
2026年度（令和8年）4月入学 学生募集要項【一般】

2026年（令和8年）4月入学の博士前期課程大学院生を募集します。本学生募集は、大学を卒業した者（卒業見込みを含む）等、社会人、外国人留学生を対象とした一般入試です。

兵庫県立大学では、2017年（平成29年）4月に、災害に強い社会づくりに向けた減災復興に関する政策の立案や実施、対策の実践等を担える知見を有した人材を育成することに主眼を置いた減災復興政策研究科減災復興政策専攻修士課程（2019年（平成31年）4月から博士前期課程）を設置しました。このたび、2026年（令和8年）4月入学の博士前期課程大学院生を募集します。

減災復興学とは、「減災の総合化」という視点から減災と復興を一体的に捉えて、安全で安心できる社会の持続的発展を目指すための学問体系をいいます。また、この減災復興学に基づき「政策の現場化」において、現場から現場への政策的コミュニケーションを大切にし、研究や教育の社会的還元を目指します。減災復興政策研究科において、これら「減災の総合化」とあらゆる人々に届く「政策の現場化」を大切にするとする考え方を科学的な視点から実践しています。

1 求める学生像

本学ならびに他大学・大学院において、自然科学分野や社会科学分野などの専門分野を修め、将来、減災復興学に関する専門家として活躍が期待される人を求めています。減災復興学に関連する学問は多岐に渡るため、出身学部において身につけた基礎的素養をもとに、様々な角度から減災復興学を学修する意欲のある人を入学させます。社会人については、職場での経験を踏まえ減災復興学に関する理論と実践を学修したい人も対象とします。多様な背景を持つ学生が混在し、互いに切磋琢磨する教育研究環境の実現を目指しています。

- ①本研究科の理念と教育（目標・内容）を十分に理解している人
- ②次代を担う、社会に貢献する等の目的意識を持って自らの能力を伸ばしようとする勉学意欲にあふれた人
- ③論理的思考や表現力など、志望する専門分野にふさわしい適性を有する人

入学にあたって必要とされる能力（アドミッションポリシー）

（1）知識・技能

学士課程卒業相当の専門性と教養を身につけ、自らの思考・判断の過程や結果を説明するに必要な知識・技能を有している。外国人留学生については上記に加え、大学院教育に対応できる（日本語能力等）。

（2）思考力・判断力・表現力

与えられた課題に対して学士課程卒業に相当する程度の理解力があり、自身の考えを表現するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を有している。

（3）主体性・多様性・協働性

自らの研究課題を意識し、それに主体的に取り組もうとする意欲に加え、多様な文化や価値観にも関心を抱き、様々な人々と協働して、これまでの災害の経験を踏まえ地域に貢献する意欲を有している。

2 募集人員

12名 [推薦入試を含む]

3 出願資格

① 一般選抜

兵庫県立大学大学院学則第 19 条第 1 項のいずれかに該当する者及び 2026 年（令和 8 年）3 月 31 日までに該当する見込みの者

大学院学則第 19 条第 1 項（主なもの）

- (1) 大学（学校教育法第 83 条に定める大学をいう。）を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) ～ (6) (略)
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者
- (10) 大学に 3 年以上在学した者で、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (11) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、当該研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者
- (12) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者（注）

（注）(12)に該当する者は、出願資格認定の事前審査を行う。
詳細は「11. 出願資格認定」を参照。

② 社会人学生選抜

社会人で「①一般選抜」の（1）～（12）のいずれかに該当する者とする。

なお、社会人学生選抜を利用する受験者は「2026 年（令和 8 年）4 月 1 日現在において政府機関、地方自治体、企業、NPO 等において 2 年以上の実務経験がある者」とする。

③ 外国人留学生選抜

外国人留学生で「(1) 一般選抜」の（1）～（12）のいずれかに該当する者とする。

注 1：出願資格について疑問がある場合、また、上記①～③の出願資格の（9）～（11）の適用を受けようとする者は、2025 年（令和 7 年）7 月 16 日（水）から 23 日（水）までに、必ず兵庫県立大学神戸防災キャンパス経営部総務学務課まで問い合わせてください。

注 2：社会人学生選抜を利用する受験者は、研究計画書において、実務経験の中で身につけた減災復興学に関する知識や技能についても記載してください。

注3：留学生など日本語を母国語としない学生については、本研究科の教育課程が日本語で実施されるため、一定の日本語能力（公益財団法人日本国際教育支援協会、独立行政法人国際交流基金または公益財団法人交流協会が実施する「日本語能力試験（N2）」に合格、またはそれと同等の日本語能力）を応募の条件とする。

4 願書受付期間

2025年（令和7年）8月8日（金）から2025年（令和7年）8月27日（水）まで（必着）

5 出願手続

下記の書類等に入学考査料30,000円（ゆうちょ銀行または郵便局が2025年（令和7年）6月1日以降に振り出した「普通為替証書」によること。ただし、証書には何も記入しないこと）を添えて、兵庫県立大学神戸防災キャンパス経営部総務学務課に簡易書留にて郵送してください。

なお、出願資格1（12）に基づき入学資格の事前審査を申請した志願者については、その際に提出した書類については、再度提出する必要はありません。

- 入学願書（様式1）
- 写真2枚（入学願書の所定欄に出願前3か月以内に撮影したものを貼付。サイズ：縦4cm×横3cm）
- 研究計画書（様式2）
- 職務・活動報告書（様式3）
※現在までの仕事、または減災復興に関する活動の内容・期間についての報告書
- 出身大学もしくは出身専修学校等の成績証明書（コピー不可。卒業見込者は、出願前3か月以内に発行したものに限り。和文又は英文以外の証明書は、和文訳を添付すること。）
- 卒業証明書、卒業見込証明書または学位授与証明書（コピー不可。和文又は英文以外の証明書は、和文訳を添付すること。）
- 留学生など日本語を母国語としない学生については、日本語能力（公益財団法人日本国際教育支援協会、独立行政法人国際交流基金が実施する「日本語能力試験」のN2以上、またはそれと同等以上）を証明する書類。
- 返送先の住所・氏名を記入した受験票返送用長形3号封筒（切手320円を貼付）。海外への送付を希望する場合は、別途大学が指定する金額の送金小切手を送付するものとする。
※外国人留学生は、住民票の写し（コピー不可。出願前3か月以内に発行したもの。在留資格、在留期間の記載されたもので、個人番号（マイナンバー）は記載しない。）を提出すること。ただし、住民登録を済ませていない場合は、パスポートのすべてのページの写しを提出すること。

【出願先】

※出願書類等は簡易書留にて郵送してください。持参は受け付けません。

〒651-0073

兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

人と防災未来センター東館6階

兵庫県立大学神戸防災キャンパス経営部総務学務課

6 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査（出願書類）、小論文、面接審査及び口頭試問の結果を総合して判断します。

7 試験科目、試験日時等

試験科目

(1) 書類審査

修得したい領域や意欲を研究計画書で確認します。外国人の志願者の日本語能力については、日本語能力試験N2以上もしくはそれと同等と認められる者であることを書類で確認します。

(2) 小論文

減災復興学を学ぶ上で必要な基礎的素養等を確認します。

(3) 面接審査及び口頭試問

面接審査では、研究計画書等に基づき学習能力について総合的に確認します。口頭試問では、専門用語の説明を問うなど基礎学力を確認します。

※ 面接審査及び口頭試問は日本語で行います。

試験日時

年月日（曜日）	試験科目等	時間
2025年（令和7年） 9月13日（土）	小論文試験	10:30～12:00
	面接審査及び口頭試問	13:30～17:30※ （一人20分程度）

※面接試験については、受験者数により終了時間が変更される可能性があります。

試験会場

兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

人と防災未来センター東館4階

兵庫県立大学神戸防災キャンパス

（詳細については、受験票とともに通知します。）

8 合格発表

2025年（令和7年）9月19日（金）10:00

兵庫県立大学神戸防災キャンパス（大教室前に掲示するとともに、合格者には郵送により通知します。なお、電話による問い合わせには一切応じられません。）

また、減災復興政策研究科のホームページで合格者の受験番号一覧を掲載します。なお、参考情報ですので、本学掲示板又は送付する通知書で正式に確認してください。

ホームページ <https://drg-u-hyogo.jp/guide/g02>

9 入学料及び授業料（2025年（令和7年）4月1日現在）

納入時期		入学手続時	2026年（令和8年） 5月	2026年（令和8年） 10月	合計
入学料	県内	282,000円			282,000円
	県外	423,000円			423,000円
授業料			267,900円	267,900円	535,800円

- (注) (1) 兵庫県公立大学法人の授業料等に関する規程が改正された場合は、その金額によります。また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料の額を適用(いわゆる「スライド制」)します。
- (2) 上記のうち、県内はア～ウのいずれかに該当する者で、県外はそれ以外の者
- ア 入学の日(2026年(令和8年)4月1日)の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者
 - イ 配偶者又は1親等の親族が、入学の日の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者
 - ウ 入学する者が、本学学部から引き続き大学院に入学する場合

10 入学手続

手続期間 2025年(令和7年)9月下旬

入学手続書類は、2025年(令和7年)9月中旬に郵送の予定

11 出願資格認定

(1) 事前審査

「3.出願資格」の「1(12)」に該当する者が出願する場合は、出願に先立ち事前審査を実施します。

下記の書類を、2025(令和7年)7月16日(水)～7月23日(水)(必着)に、兵庫県立大学神戸防災キャンパス経営部総務学務課まで、簡易書留で封筒に「出願資格事前審査書類在中」と朱書きして郵送してください。

- ①出願資格認定審査申請書(本学所定の様式4による)
- ②最終出身学校の成績証明書(コピー不可。卒業見込者は、出願前3か月以内に発行したものに限り。和文又は英文以外の証明書は、和文訳を添付すること。)
- ③最終出身学校の卒業証明書、卒業見込証明書(コピー不可。和文又は英文以外の証明書は、和文訳を添付すること。)
- ④研究・活動報告書(その1)(本学所定の様式5)
- ⑤研究・活動報告書(その2)(本学所定の様式6)
- ⑥審査結果通知用封筒(長形3号封筒に郵便切手244円分を貼り、返送先の住所・氏名を記入したもの)。海外への送付を希望する場合は、別途大学が指定する金額の送金小切手を送付すること。

(2) 出願手続

出願資格認定の審査結果は、郵送にて2025年(令和7年)8月8日(金)までに本人あてに通知します。認定された者は、願書受付期間中に所定の書類を整え提出し、出願手続をしてください。

12 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限(2年)では教育課程の履修が困難な者を対象に長期履修制度を設けています。

出願資格及び出願期間等詳細については、減災復興政策研究科ホームページの「長期履修制度」をご覧ください。

13 注意事項

- (1) 納付された入学考査料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。
- (2) 授業はすべて日本語で行われるので、外国人受験者で日本語の能力が十分でない者は、日本語の予備教育を受けておくことを推奨します。
- (3) 外国人学生は、在学中の学費・生活費等について、自ら責任を持って準備する必要があります。
- (4) 授業は原則として平日の日中に行われるので、社会人学生として在職しながら

ら就学を希望する者は、自らの責任で勤務先と「勤務と勉学スケジュール等」について了解済みであることを前提とします。

(5) 障がい有者志願者との事前協議

障がいがある者等で、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願前の2025年(令和7年)7月16日(水)から23日(水)までの期間に申し出ること。協議申請書(様式7)(医師の診断書等必要書類添付)を提出し、必要な場合、本学において申請者又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

(6) 感染症の流行に伴い、受験者には感染予防対策(手洗い、消毒、マスク着用等)へのご協力をお願いする場合があります。また、入試方法が変更される可能性もあります。詳細については、本研究科ホームページに掲載すると共に、受験者に直接ご連絡します。

(7) 兵庫県立大学では、BYOD(Bring your own device)を推進しており、学生は入学時にノートPCを準備する必要があります。また、本学はマイクロソフト社とライセンス契約を締結しているため、在学中はMicrosoft Officeの最新版を無償ダウンロードできます。

14 連絡・問合せ先

兵庫県立大学神戸防災キャンパス経営部総務学務課

TEL: 078-891-7379 (平日 10:00~12:00、13:00~17:00)

E-mail: gensai@ofc.u-hyogo.ac.jp

教員連絡先

職名	氏名	電子メール
教授	永野 康行	nagano@drg.u-hyogo.ac.jp
教授	※青田 良介	ryosuke_aota@drg.u-hyogo.ac.jp
教授	馬場 美智子	banba@drg.u-hyogo.ac.jp
教授	阪本 真由美	sakamoto@drg.u-hyogo.ac.jp
教授	浦川 豪	g_urakawa@drg.u-hyogo.ac.jp
准教授	澤田 雅浩	sawada@drg.u-hyogo.ac.jp
准教授	紅谷 昇平	beni@drg.u-hyogo.ac.jp
准教授	谷口 博	taniro@drg.u-hyogo.ac.jp
准教授	平井 敬	hirai.takashi@drg.u-hyogo.ac.jp
准教授	松川 杏寧	anna.matsukawa@drg.u-hyogo.ac.jp

※印の教員は、2026年(令和8年)3月に退職の予定です。

様式リスト

減災復興政策研究科ホームページからダウンロードの上ご使用ください。

- 様式1 入学願書
- 様式2 研究計画書
- 様式3 職務・活動報告書
- 様式4 出願資格認定審査申請書
- 様式5 研究・活動報告書(その1)
- 様式6 研究・活動報告書(その2)
- 様式7 協議申請書